



寛容

校長 羽田野庸史

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じるこの頃ですが、先日、襲来した台風19号は、日本列島にこれまでにない記録的な大雨をもたらし、その甚大な被害は、6年生の箱根移動教室の行程にも影響を及ぼしました。また、台風21号は、日本列島から逸れたにも関わらず、それに刺激された低気圧がやはり記録的な大雨を降らせました。昨年度の西日本豪雨もそうですが、台風はもちろんのこと、台風でなくても危険を想定して行動しなければならなくなったことを感じさせた気象災害でした。

さて、11月末に学芸会が予定されています。今年度も多くの参観者が見込まれます。そのため、会場（体育館）は、出演している学年の保護者とプログラムでその次の学年の保護者のみ入場していただきます。そして、例年同様、会場前方のマット席と座席部分前方を「出演学年保護者優先席」とし、「出演学年保護者優先席」後方を出演学年の次のプログラムの学年の保護者の席とします。しかし、この学年の方は、席数の関係上、全員が座れず、立ち見になる方もいらっしゃるかもしれないことをご了承ください。

このような学芸会の計画を立てながら、SNSで話題になっているアメリカのディズニー・ワールドでの出来事を思い出しました。6才のブロディ・バークナー君は、8月25日、アメリカフロリダ州のディズニー・ワールドを家族とともに訪れました。午後4時頃、家族は白雪姫と写真撮影をするために列に並びました。しかし、そこにはすでに長蛇の列ができています。ブロディ君は、自閉症を患っていて、会話をすることができません。当日は、暑かったこともあり、騒音や人混みが苦手なブロディ君は、突然パニック発作を起こしてしまいました。激しく泣き叫ぶブロディ君をなだめるのは、両親でさえ難しい状況でした。

この両親でさえお手上げ状態のところには現れたのは、白雪姫でした。パニック発作に苦しんでいるブロディ君を見た白雪姫は、ブロディ君を抱きしめ、膝枕をして介抱したのです。ブロディ君は、白雪姫の膝の上で横になり、泣いていました。さらに、白雪姫は、ブロディ君を連れて、人混みから離れた場所まで散歩に連れて行きました。そして、ブロディ君の手を握り、ダンスをしました。こうしているうちに、ブロディ君は笑顔を取り戻し、白雪姫と一緒にベンチに座り、かけがえのない時間を過ごしました。

しかし、母親のローレンさんは、このことで白雪姫の写真撮影の列がさらに混み合うことに不安を感じていました。ローレンさんは、列の方を振り向き、「皆さんが列に並んで待っているのに、息子のためにさらに待たせることになってしまい、申し訳なく思っています。」と列に並んでいる人に謝りました。すると、待っていた人たちから拍手が起こりました。その温かい拍手にローレンさんも救われる思いでした。

相手の立場を思い、それを受け入れ、互いにとってよりよい方向性を見出すことができる心の在り様は、美しいものです。相手の事情や過ちなどをきちんと理解した上で、広く優しい心で許すこと、それが“寛容”です。

学校生活でも、日々、心の衝突や摩擦が起こります。相手の非を責めるばかりでなく、広い視野で物事を捉え、互いに理解し合い、豊かで楽しい生活を送ろうとする、そんな子供に育ててほしいと願っています。

11月 行事予定

日	曜	行事等	放課後 遊び
1	金	移動教室終了(6年) 安全指導	4~6
2	土		
3	日	文化の日	
4	月	振替休日	
5	火	親子読書開始 セーフティ教室(3・4年 2~4校時)	3~6
6	水	4時間授業	なし
7	木	体育朝会(高) 六本木アカデミー(4時間授業) 1-1 1-2 1-3 2-2 3-1 3-2 4-1 5-2:5時間授業	なし
8	金	体育朝会(低) 通学路点検 盲導犬キャラバン(4年 1・2校時)	4~6
9	土	ファミリー遊び 日本文化の時間	なし
10	日	親子読書終了	
11	月	避難訓練 委員会活動⑦	5~6
12	火		3~6
13	水	開校記念集会	なし
14	木	開校記念日 プラネタリウム見学(4-1) 就学時検診	3~6
15	金		4~6
16	土		
17	日		
18	月	クラブ活動⑥	4~6
19	火	個人面談①(希望者)	なし
20	水	お家のお仕事講座(2年 2・3校時)	なし
21	木	音楽朝会 個人面談②(希望者)	なし
22	金	個人面談③(希望者)	なし
23	土	勤労感謝の日 海外派遣一次選考(論文)(5年希望者)	
24	日		
25	月		4~6
26	火		3~6
27	水		なし
28	木		3~6
29	金	学芸会(児童鑑賞日)	なし
30	土	学芸会(保護者鑑賞日)給食あり5時間授業	なし

《 お知らせ 》

○通学路点検について

すでに学校よりプリントを発出していますが、10月に予定されていた通学路点検が台風19号により延期されました。そのため、8日(金)午後3時40分より実施します。ご協力の方、よろしくお願いいたします。

○11月の避難訓練について

29日(金)、30日(土)は、学芸会です。11日(月)に行われる避難訓練は、この学芸会の時の火事を想定したものです。体育館のような場所に大勢の人が集まっているときの避難行動について学習します。

○個人面談について

例年、春と秋の2回実施していた個人面談を、今年度より秋の個人面談は、希望される保護者のみとしました。19日(火)、21日(木)、22日(金)の3日間です。希望された保護者の方は、日時等お間違いのないようお願いいたします。

○人権の日について

11月の人権の日は、28日(木)です。給食は、ニュージーランドで、フィッシュ&チップスです。

○校庭開放について

16日(土) 10:00~12:00
13:00~16:00

11月の生活目標

生活指導主任 高橋 基樹

「力を合わせてやりぬこう！」

もうすぐ学芸会があります。どの学年もこれから練習が本格化してきます。一人ひとりが自分の役割を最後までやり切り、みんなで力を合わせて素敵な会を創り上げましょう。

学芸会について

学芸会委員長 小林恵里花

11月29日(金)30日(土)の2日間に学芸会が行われます。29日(金)は児童鑑賞日、30日(土)は保護者鑑賞日です。

11月に入ると学芸会に向けた練習が本格的に始まります。台本を見ながら台詞を覚えたり、動きを考えたりする様子や、劇中で歌う曲を元気に歌う姿が見られるようになり、学校全体が学芸会モードになっていきます。

学芸会では、学年で力を合わせ、一つのステージを創り上げることの素晴らしさを子供たちに指導していきます。そのためには、ステージに上がっている瞬間だけでなく、舞台袖で待つ態度や、高学年では照明操作や大道具の運搬など裏方の仕事も非常に大切な活動になります。練習のうちから子供たちが主体となって舞台上の動きを考えたり、お互いに見合っによりよい劇にする時間を設定したりして子供たちの主体性を育てていきます。そうすることで、劇の間、すべての児童が集中し、場面の切り替えですれ違う役者同士が「頑張っ！」のジェスチャーを送り合うような、学年全員で創り上げる劇にしていきたいと思います。

今年度も、観覧席前方に出演学年保護者優先席を設置をしますが、当日は混雑が予想されます。お互いに譲り合いながら、全員が楽しめる学芸会を創っていけるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。



連合運動会を終えて

6年1組 栗原 建二
6年2組 黒川 洋

記録的な台風19号の影響が心配されましたが、10月15日(火)に駒沢オリンピック公園総合運動場で港区連合運動会が行われました。

例年は夢の島陸上競技場での実施でしたが、今年度より駒沢オリンピック公園総合運動場に場所を変えました。

1周400mという東町小の4倍もの距離のトラックがあるなど、100mを直線で走ることができる本格的な設備が整った競技場で全員が思い切り体を動かすことができました。

100m走では、「走り方教室」でライフセーバーの和田賢一さんに教えていただいたことを生かして、どの子も全力で走り切ることができました。

走り高跳びでは、男女ともに優勝争いを演じ、その友達に対してスタンドから懸命に声援を送る姿が見られました。その時、学年が一つになっていたように感じました。

6年生は、10月29日(火)から箱根移動教室に行っています。3泊4日の中でも仲間を大事にし、学年が一体となって活動できればと思います。



親子読書のお知らせ

親子読書担当 山地 千登香

心地よい季節になりました。秋の夜長に、ほっと一息、ご家族と一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

東町小学校では、下記の予定で「20分親子読書」を計画しています。普段は、個々に自分の好きな本を読まれていると思いますが、この期間はぜひ保護者の皆様からお子様への読み聞かせの機会をもっていただければと思います。きっと素敵な時間になります。読み聞かせでなくても、同じ空間で一緒にそれぞれの本を読むこともおすすめです。また、どうしても親子での時間がとれない場合には、この期間に20分読書をする時間を設けていただければと思います。

日頃の忙しさをひと時忘れて、ともに静かな空間を過ごしてみてください。この経験が、読書の習慣の第一歩となればと思います。

ご協力をよろしくお願いします。

《20分親子読書》

○期間 11月5日(火)～11月10日(日)

○内容 親子で読書に取り組み、読書記録を付けます。

11月11日(月)に、「読書の記録」を担当に提出してください。



メタセコイアの木 ～開校106年を迎えて～

副校長 近藤 夏彦

本校の校庭には、メタセコイアという名の大きな木が、東町小学校の校舎全体を見渡しているかのように、空に向かって真っすぐに立っています。木の高さは、本校の4階建ての校舎の屋上よりも高く、幹の太さは、大人の私が両腕を回しても届かないほどです。

先日、本校の学校評議員であります大塚明様とお話をする機会がありました。大塚様は、学校評議員であると同時に、本校の卒業生でもあり、今から60年ほど前にこの東町小学校を卒業されている方です。現在、校庭に立っている大きなメタセコイアは、大塚様が東町小学校を卒業される際の、卒業記念として植えられた木だそうです。また、在校されている時に体育館やプールが作られたことや、児童数の増加に伴い、木造の校舎がどんどん増築されていったことなど、当時の思い出の一つ一つをととても大切にされ、東町小学校を誇りに思っておられることが伝わってきました。

今の東町小学校があるのも、本校を愛してくださる地域の方々や、温かいご理解とご協力をいただいている保護者の皆様、そして我々の諸先輩である教職員の方々のご尽力のおかげに他なりません。

大塚様が卒業記念に植えられた当時のメタセコイアは、2メートルくらいの高さしかなかったそうです。その日から、今日までずっと東町小学校の子供たちを見続けてきたメタセコイア。この立派に成長したメタセコイアのように、東町小学校の子供たちが、素直で真っすぐに、そしてのびのびと育っていくことを願いながら、教育活動を進めてまいりたいと考えます。